

2013年12月号

特集：画像処理を使用した外観検査技術 一色情報を用いた手法を中心に一

外観検査において、産業、工業用途では照明環境を制御した画像処理技術が、一般消費者向け等の民生用途の画像処理とは異なって使用されている。これまでは、コスト・演算量の点で有利な濃淡カメラを使用していた画像処理が主流だったが、色ムラ検査などの欠陥の特徴が判然としない案件や、製品の色・つや個体差などの予測できない多様な特徴分布をもつ欠陥に対するニーズが増えてきており、これらを検出・定量化する技術として色情報を使用している事例が見受けられる。そこで、「色情報を用いた手法を中心に」した画像処理を使用した外観検査技術という特集として、特に、初学者向けに、基礎的な内容とそれらを支える製品群に触れた後に、具体的な応用事例を紹介する。

No.	タイトル	執筆者
1	特集にあたって	
2	チュートリアル含むご自分のご研究の紹介 濃度共起確率分析に基づく超高速テンプレートマッチング	中京大学
3	目視官能検査の自動化技術	富士通研究所
4	撮像部：カラーカメラの種類と特徴	ジェイエアイコーポレーション
5	周辺視と固視微動に学ぶ「傷の気付き」アルゴリズム	中京大学
6	リソグラフィーにおけるウエハの欠陥検査	OplusE 編集部
7	主成分分析およびスペクトル理論のパターンマッチングへの 応用	熊本大学
8	FA応用のための3D計測手法の最新動向	オムロン
9	ロバストパターン照合技術の外観検査実応用	北海道大学

※特集予定は都合により変更になる場合があります。詳細は営業担当にお尋ねください。

発行日：2013年11月25日

申込締切：2013年10月25日

原稿締切：2013年10月31日